

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

新温泉町長

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 市町村名<br>(市町村コード)  | 新温泉町<br>( 28586 )  |
| 地域名<br>(地域内農業集落名) | 温泉地域<br>( 千谷集落 )   |
| 協議の結果を取りまとめた年月日   | 令和7年7月31日<br>(第1回) |

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

集落内には担い手と呼べる人はおらず、高齢化が進み思うように作業ができなくなっている。中山間直払を活用し、何とか保全管理に取り組んでいる状況である。集落として集落営農組合の活性化やスマート農業への移行も検討し、少しでも農作業に係る負担を減らしたいと考えている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

水稻栽培が基本となるが、遊休農地を活用した放牧や、堆肥を活用した資源循環型農業の取り組みを加速させる必要もある。また、集落としてリモコン草刈機を導入し、農作業への効率化を図り、現状の農地面積維持を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

|                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| 区域内の農用地等面積                       | 6.76 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積      | 6.76 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】 | ha      |

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

中山間直払を活用し、現状の農用地面積の維持管理を図る。また、農作業の効率化を図るために、同一団地内での集約化を目指す。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

|  |
|--|
| (1)農用地の集積、集約化の方針                         |
| 地権者の意向を最優先した上で、効率化を図るために、同一団地内での集約化を目指す。 |
| (2)農地中間管理機構の活用方針                         |
| 現状での活用は考えていないが、今後考えていく必要はある。             |
| (3)基盤整備事業への取組方針                          |
| 現状での活用は考えていないが、今後必要であれば検討する。             |
| (4)多様な経営体の確保・育成の取組方針                     |
| 都市部からの移住等も視野に、積極的に農地活用を検討していく。           |
| (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針      |
| 今後も●●のドローン防除等を活用し、農作業の省力化を図る。            |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

|   |   |   |  |                               |
|---|---|---|--|-------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料        | <input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等          | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等            | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等 | <input type="checkbox"/> ⑧農業用施設             | <input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等 | <input type="checkbox"/> ⑩その他 |

【選択した上記の取組方針】

- ①電気柵とメッシュ柵の維持管理を徹底し、今後は箱檻等も検討し、捕獲にも力を入れる。
- ③ドローン防除を今後も継続し、リモコン草刈機の有効活用を図る。
- ⑦中山間直払交付金を活用し、農地の荒廃を防ぐ。
- ⑨地元畜産農家と連携し、放牧や稲わら交換システムの検討を行う。